

令和3年度（2021年度）予算概要

単位：千円、%

会計	令和3年度 (2021年度) A	令和2年度 (2020年度) B	増減		
			増減額 C (A-B)	増減率 C/B	
一般会計	59,600,000	63,970,000	▲ 4,370,000	▲ 6.8	
特別会計	財産区事業費	1,851,645	2,071,454	▲ 219,809	▲ 10.6
	国民健康保険事業費	13,666,774	13,660,849	5,925	0.0
	介護保険事業費	10,487,221	11,312,858	▲ 825,637	▲ 7.3
	後期高齢者医療事業費	2,500,333	2,444,871	55,462	2.3
	公共用地先行取得事業費	1,073,106	795,198	277,908	34.9
	介護サービス事業費	12,267	6,212	6,055	97.5
	特別会計の計	29,591,346	30,291,442	▲ 700,096	▲ 2.3
企業会計	病院事業会計	10,551,874	10,400,557	151,317	1.5
	水道事業会計	3,961,281	4,479,631	▲ 518,350	▲ 11.6
	公共下水道事業会計	3,189,520	3,145,598	43,922	1.4
	競艇事業会計	71,110,019	47,209,048	23,900,971	50.6
	企業会計の計	88,812,694	65,234,834	23,577,860	36.1
合計	178,004,040	159,496,276	18,507,764	11.6	

**** 当初予算の全体像 ****

《一般会計の予算額》 596億円 < ▲ 43億70百万円、▲ 6.8% >

- ・ 箕面市立文化芸術劇場や市立船場図書館がオープンを迎え、箕面船場阪大前駅の周辺整備による事業費のピークが過ぎたことなどから、予算額が約44億円減少しました。

《全会計の予算額》 1,780億04百万円 < + 185億08百万円、+ 11.6% >

- ・ 競艇事業会計において、SG競走（グランプリ）の開催年にあたるため、予算規模が拡大したことにより、全会計の予算総額が約185億円増加しました。

◆ 一般会計の主な歳入の状況

・ **市税** 228億59百万円 < ▲ 8億42百万円、▲ 3.6% >

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、約8億円減少しました。

・ **市債** 34億98百万円 < ▲ 74億38百万円、▲ 68.0% >

新駅への交通アクセスを確保するための都市計画道路の整備や箕面船場阪大前駅の周辺整備などの財源として市債を発行しました。

・ **競艇事業会計繰入金** 15億円 < + 5億円、+ 50.0% >

好調な業績を背景に、前年度から5億円増加した15億円の繰入金を見込んでいます。

北大阪急行線の延伸整備にかかる市債の償還などに活用した残り約14億円を「北大阪急行南北線延伸整備基金」へ積み立てました。

◆ 一般会計の主な歳出の状況

・ **扶助費** 151億40百万円 < + 1億04百万円、+ 0.7% >

待機児童対策として保育所整備を進めてきたことによる保育給付費の増加やその他扶助費の増加などにより、約1億円増加しました。

・ **普通建設事業費（施設整備など）** 126億53百万円 < ▲ 69億57百万円、▲ 35.5% >

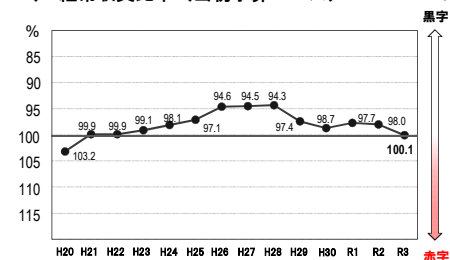
都市計画道路の整備や箕面船場阪大前駅前の周辺整備、唐池公園のリニューアル工事、彩都の丘学園増築校舎の取得などを実施します。

・ **人件費** 104億88百万円 < ▲ 1億29百万円、▲ 1.2% >

退職手当の減少や令和2年度人事院勧告による職員給与費の減少などにより、約1億円減少しました。

**** 収支バランスの状況 ****

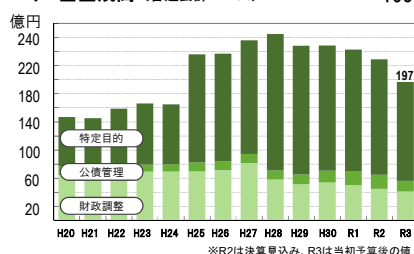
◆ 経常収支比率（当初予算ベース） 100.1% < + 2.1ポイント >



新型コロナウイルス感染拡大の影響による市税収入の大幅な減収や社会保障関係費の増加などにより、昨年度比から2.1ポイント増加しました。

感染拡大の収束時期が依然見えない中で、本市財政は、当面極めて厳しい行財政運営を強いられる見通しです。

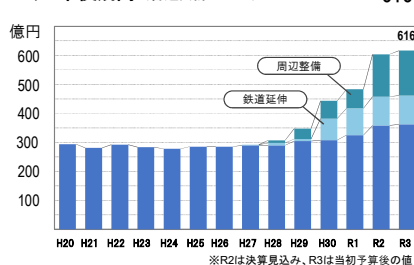
◆ 基金残高（普通会計ベース） 196億73百万円 < ▲ 32億35百万円、▲ 14.1% >



今後の市債の償還などに活用するため、「北大阪急行南北線延伸整備基金」への積み立てなどを行った一方、予定していた大阪大学現キャンパスの建物購入などに基金を活用した結果、基金残高は約32億円減少しました。

また、市税収入の減収などへの補填のため、財政調整基金を12年ぶりに3億7千万円取り崩しています。

◆ 市債残高（普通会計ベース） 616億18百万円 < + 12億40百万円、+ 2.1% >



令和5年度の鉄道開業に向け、新駅への交通アクセスを確保するための都市計画道路の整備や箕面船場阪大前駅の周辺整備などにかかる市債を発行した結果、残高は約12億円増加しました。

今後の償還額の増加は、財政運営に大きな影響を及ぼすものであることから、新年度は、基金を活用し、約7億円の市債の発行抑制に努めました。

愛すべきまち「箕面」の次世代への継承、および持続可能な魅力あるまち「箕面」の実現に向け、今後、策定した「箕面市新改革プラン」に基づき、限られた財源で住民サービスを向上させるとともに、約5億円の経常経費の削減と、経常収支比率の改善をめざします。